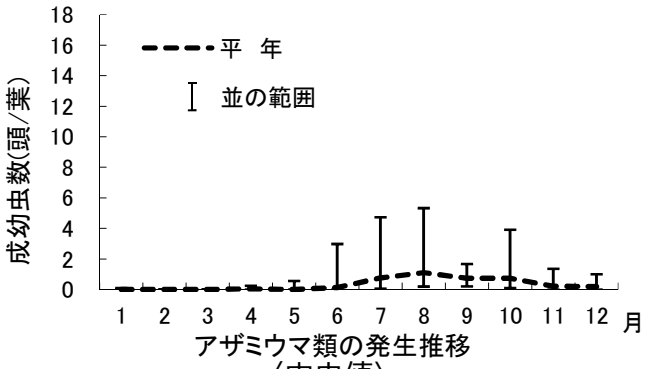
令和　2 年度　　5 月予報

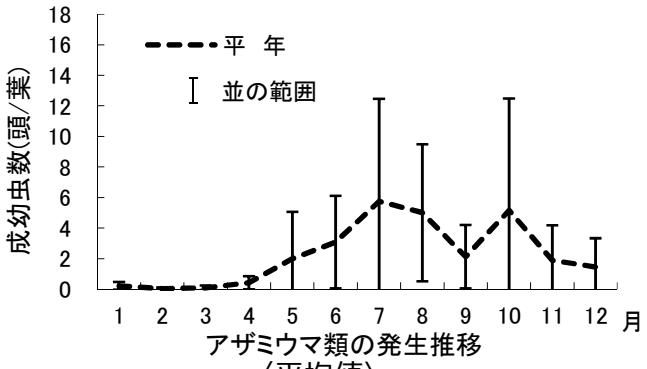
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
予報	5 月の発生量（平年比）	―	
	4 月からの増減傾向	―	
予報の根拠	4 月の発生量（平年比）	―	
	その他 (気象要因など)	―	

調査結果

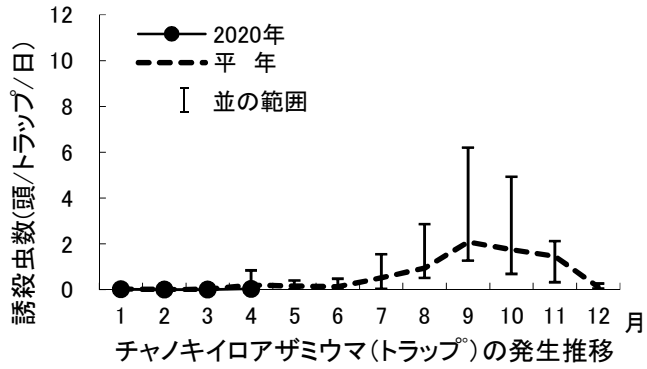
（見取り調査）　〈中央値〉



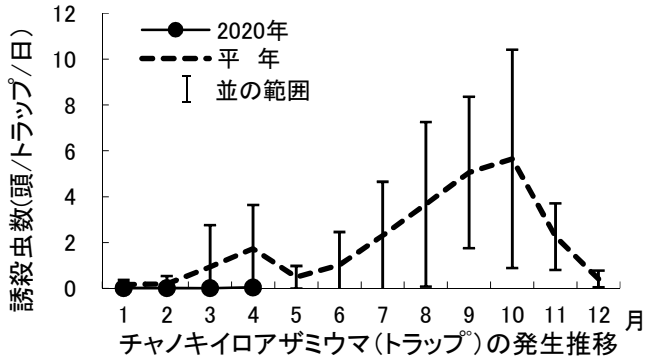
〈平均値〉



（トラップ調査）　〈中央値〉



〈平均値〉



・見取り調査は、新梢数が基準に満たなかったため4月のデータなし

・トラップ調査の誘殺ほ場率：50%（平年91.2%）

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。

・不要な新梢は、施設外に除去する。

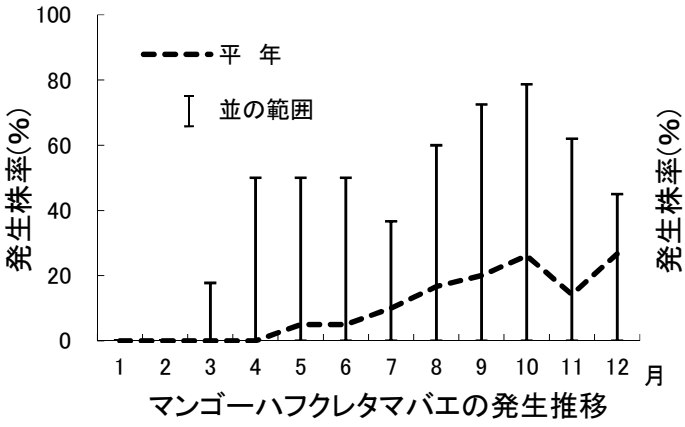
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　5 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ			
予報	5 月の発生量（平年比）	―		
	4 月からの増減傾向	―		
予報の根拠	4 月の発生量（平年比）	―		
	その他 (気象要因など)	―		

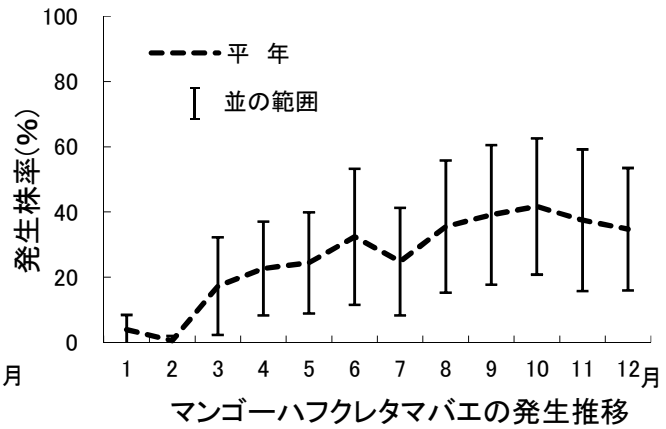
調査結果

〈中央値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

〈平均値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

- 新梢数が基準に満たなかったため4月のデータなし
- 発生ほ場率：平年43.9%

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

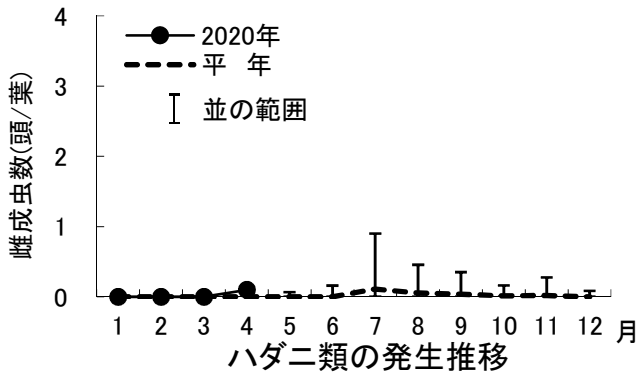
・不要な新梢は、ほ場外に除去する。

令和　2 年度　　5 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	① ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	5 月の発生量（平年比）	並		
	4 月からの増減傾向	↘		
予報の根拠	4 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↘）		

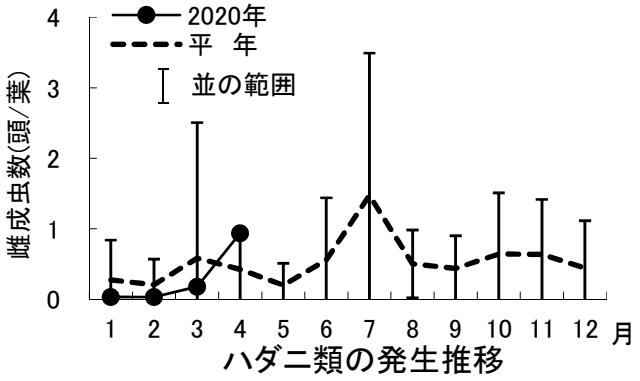
調査結果

〈中央値〉



ハダニ類の発生推移

〈平均値〉



ハダニ類の発生推移

- 発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ
- 発生ほ場率：50%（平年40.3%）
- 新梢での寄生雌成虫数：新梢数が基準に満たなかったため4月のデータなし

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症